

# 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第3回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	南 有 隆	1 コロナ禍における教育振興について	<p>(1) コロナ禍になりGIGAスクール構想が推進され勉強方法が変わりつつあるが、今後どのような教育方針を考えているのか伺いたい。</p> <p>(2) ICT化が進むと家計への負担が増え勉強や進学、奨学金制度に影響が出ると思うがどのように考えるか。</p>	教 育 長  教 育 長
		2 新型コロナワクチン接種について	<p>(1) 与論町における新型コロナワクチン接種の状況とコロナハラスメントやワクチンハラスメントが起きていないか伺いたい。</p> <p>(2) 今後の与論町の新型コロナワクチン接種は、どの様に進めていくのか。希望者のワクチン接種が済めば終了となるのか伺いたい。</p>	町 長  町 長
2	林 敏 治	1 交流人口拡大の対策について	<p>(1) 先般、奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島が世界自然遺産に登録された。本町においては、国立公園に指定されているが、同じ離島でも様々な点で異なることから、観光立島として取り残されていないか懸念されるが、今後、関係機関となお一層の地域連携を強化して、交流人口の拡大を図るため誘客促進を積極的に取り組んでいく考えはないか。</p>	町 長
		2 出産、子育て医療体制の充実について	<p>(1) 近年、人口減少、少子化が進行する中、本町においては医療機関に産婦人科、小児科医師を常駐させて、安心して子供を産み育てることができるよう環境整備が必要であると考え。将来、若者たちが「産んで大丈夫」という社会基盤を構築することが大切であり、安心して島に帰って子育てをするための産業興しが必要であると痛感するが、今後、医療体制の充実を図るため関係する医療機関等に強く要請する考えはないか。</p>	町 長
		3 火葬場の運営体制について	<p>(1) 現在、火葬場の運営体制については、事実上1人での業務運営となっており過度な負担がかかっているように思われる。旅行や緊急事態など</p>	町 長

# 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第3回定例会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			が生じた場合、補助員を確保することが喫緊の課題であると考えているが、今後安定的運営をするためにも、担当課職員での対応を含め、業務体制の充実を図り、早急に対策を講じる考えはないか。	
3	沖 野 一 雄	1 国立公園における開発行為等について	(1) 自然の風景地に恵まれた本町は、平成29年3月に「奄美群島国立公園」区域に指定されている。最近、重要な景勝地の一つである船倉海岸沿いに開発造成中と思われる事例が見受けられるが、自然保護のための法的規制とこの開発行為等とのバランス、地域住民の意向等を含めて、今後の対応等に係る基本的な考え方について伺いたい。	町 長
		2 新型コロナウイルス感染症に係る新たな予防対策及び寄付金活用策について	(1) 町内における新型コロナワクチン接種については、比較的順調に進捗していると聞いているが、未だに散発的な感染者の発症が続いている。従来の感染予防対策に加えて、新たな重点対策が求められていると考えるが、町長の認識と新たな施策等について伺いたい。 (2) 本町における最初のクラスター発生以来、島内外から相当額の寄付金が寄せられているが、ほぼ全額が基金に積み立てられたままとなっている。寄附された方々の思いに応えるためにも、その効果的な活用を急ぐ必要があると考えるが、町長の現状認識と今後の具体的活用策について伺いたい。	町 長  町 長
4	喜 山 康 三	1 与論町の海浜事業の進め方と自然保護について	(1) 与論町南海岸防災基本計画は、1、与論港供利地区 2、マンマ・ハキビナ地区 3、前浜海岸・麦屋地区の三地区で進められている。事業着手前に地元や関係者に事業内容についてどのような説明を行ったか。 また、海浜事業は干潟や周辺海浜の形成に大きな影響を与える事は経験的にも港湾工学上からも指摘されているが、供利マンマ海岸、ハキビナリーフ、前浜リーフに消波ブロック設置計画がある。貴重な景観破壊だけでなく別の災害誘発原因にならないかなど地域住民や関係機関等と	町 長

# 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第3回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			十分に検討、調査を行い進めているか伺いたい。 (2) 百合ヶ浜減少問題について、どのような取り組みを行ってきたか、今後どのような対策等を行っていくつもりか。	町 長
		2 町道、農道及び県道の整備・舗装について	(1) 町道、農道及び県道をはじめ道路整備舗装において路面の凸凹が激しいところや、波打っている所や窪んでいる所もある。消火栓、水道施設のマンホール蓋や道路横断排水溝と路面に段差が大きい所もある。交通安全や救急車走行に悪影響がある。計画に即して施工等は進められているか、完成引き渡し、維持管理の在り方はどの様になっているか。 (2) 朝戸から東区十字路までの県道路の現状は道路としての体をなしていないと考える。特に、東区十字路周辺は交通安全からも危惧されることから早急な対策事業が必要と考える。見解を伺いたい。 (3) 空港トンネルの道路面の凹凸が激しく冠水後には水たまりができ、観光客の徒歩、バイク、自転車通行に支障が出ている。改善に取り組むつもりはないか。	町 長  町 長  町 長
		3 新学習指導要領への取り組みについて	(1) 平成29年度に告知された新学習指導要領は戦後教育において空前の大改訂と言われ、与論高校では取り組みを始めているとの報道がある。幼児教育から始まり、義務教育、高校、特別支援学校が一貫して新学習指導要領に取り組むことが求められている。新学習指導要領への取り組みについて伺いたい。	教 育 長
5	林 隆 壽	1 コロナ禍における安心安全な町づくりについて	(1) 現在、鹿児島県独自の緊急事態宣言がなされており、新たに、17日にはまん延防止等重点措置が適用されましたが、離島は対象としないとのことである。しかし、本町においては、クラスターや感染者が断続的に発生している現状にある。安心・安全な経済活動を継続するため島へ	町 長

# 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第3回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			<p>の入出の際、PCR検査済みやワクチン接種済みの証明書提示等の対策を講じる事により、沖縄県で実施されている「ブルーパワーリストバンド」活用のような、島民や来島者が共に安心して暮らし、観光が楽しめるシステムの構築を図ることは出来ないか。</p> <p>(2) 全町民対象のワクチン接種率は何%で、終了見込みはいつか。また、ニュースなどで騒がれているデルタ株に対するワクチン接種はあるのか。</p>	町 長
		2 農業振興対策について	<p>(1) 敷料化ラブセンターの作業効率を向上し、有効活用の促進を図り、畜産農家へ十分な敷料の材料を提供することにより、健康管理並びに事故防止対策を講じ所得向上を図る考えはないか。</p> <p>(2) 現在、さとうきびと生産牛の耕畜連携実証グループによる実証活動が行われている。今後の与論農業の振興に必要な農業政策と思われるが、これらの活動に対し、どのように普及活動を展開し、どのように定着を図っていく考えか。</p>	町 長 町 長
6	大 田 英 勝	1 「生理の貧困」への対策について	(1) 新型コロナウイルス禍等による経済的な困窮から、生理用品を買えない「生理の貧困」を訴える女性の声が全国的に広がっていると聞く。児童・生徒や学生に多い「生理の貧困」が本町においてはどのような状況なのか調査を行い、対策を講じる必要があると考えるが教育長の見解を伺いたい。	教 育 長
		2 コロナウイルス感染対策としてのトイレの洋式化について	(1) 本町の学校を含めた公共施設及び公衆トイレの便器の総数は何基か。また、その内洋式は何基となっているのか。洋式はふたを閉めて流せるので、和式より飛沫飛散のリスクが低いとされる。県も感染対策として、7つの文化施設及び体育施設のトイレの洋式化の予算を計上し、洋式の割合を47%から72%まで引き上げるという。本町でも感染対策及び	町 長 教 育 長

# 一 般 質 問 通 告 書

令和3年第3回定例会 No. 5

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
			高齢者対策として、学校や公共施設トイレの洋式化を推進する考えはないか。	
		3 防災無線の自局放送方法の改善について	(1) 防災無線が新しくなり、防災への備えが強化されたことは誠に喜ばしいことである。しかしながら、以前は自治公民館内で自局放送ができたが現在のシステムでは外の拡張器の下でしか放送ができない仕組みとなっている。しかも、機器が3メートル程の高い位置にあるため、放送は脚立の上で行う必要があり、とても危険である。ついては、これまでのように自治公民館の中で放送ができるようシステムの改善を図る考えはないか伺いたい。	町 長
7	原 栄 徳	1 与論町における介護保険サービスの利用状況と訪問介護への取り組みについて	<p>(1) 平成12年度から介護保険制度が始まり、国民の義務として40歳以上は介護保険料を納めているが、与論町においての年間の納付金総額、現在の介護保険サービスの利用率、利用状況について伺いたい。</p> <p>(2) 病気や障がいがあっても住み慣れた家で暮らしたい、人生の最後を自宅で迎えたいと望む方々が増えていると聞いている。訪問介護の充実が求められているが与論町としての取り組み及び考え方を伺いたい。</p> <p>(3) 進み行く高齢化社会への対応、障がいを抱える方々、訪問介護を望み必要としている方々への最高のサービスを提供するため、地域に開かれた独立した訪問介護ステーションの開設が急務だと思われるが、与論町として現在の状況をどう考え、今後どのように対応していくのか伺いたい。</p>	町 長 町 長 町 長